

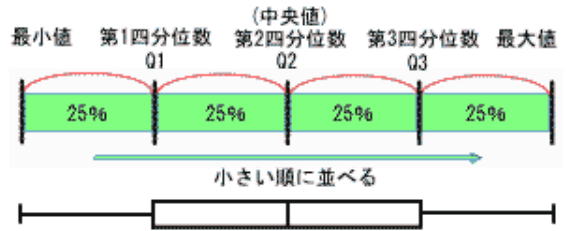
箱ひげ図(中央値を基準)

★良いところ

- ・最大値,最小値,四分位数が一目でわかる
- ・データの大まかな散らばりがわかる
- ・複数のデータを比較しやすい

★注意すべきところ

- ・平均値や最頻値は読み取れない
- ・詳しい分布や散らばりの度合いは見抜けない



印刷して、紙の上でやってネ!

箱ひげ図から読み取れることとして,正しいものに○,正しくないものに×,どちらともいえないものに△を,それぞれ記入しなさい。

<p>1 生徒20人が持っていた筆記具の本数</p> <p>ア 平均値は5本() イ 最小値は1本() ウ 第3四分位数は4本() エ 10本は1人()</p>	<p>2 生徒30人の自宅学習時間</p> <p>ア 0分の人はいない() イ 30分以上は20人() ウ 第1四分位数は10分() エ 四分位範囲は40分()</p>
<p>3 35人が受けた数学のテストの得点結果</p> <p>ア 55点以下は20人() イ 最高点と最低点の差は50点() ウ 10点は少なくとも1人いる() エ 最も多いのは55点()</p>	<p>4 x人が受けた英語のテストの得点結果</p> <p>ア 最高点は95点() イ 平均点は70点() ウ 中央値は75点() エ 60~80点は$\frac{1}{2}x$人()</p>
<p>5 国語のテストの得点結果</p> <p>ア 最も少ないのは20点() イ 50点以上が半数いる() ウ 20点は1人() エ 40~50点と50~90点は同人数()</p>	<p>6 生徒24人の学習時間(7日分)</p> <p>ア 8~10時間は2人() イ 10時間以上は約50%いる() ウ 8~16時間は約半数いる() エ 最長は16時間()</p>